

ロールの保管場所と利用状況①



地元産稲WCS、杓スタイン肥育用



細断して給与、和牛・F1肥育用



2ロールずつ運搬



堆肥舎と兼用、和牛・F1肥育用

ロールの保管場所と利用状況②



コンパ°外バ°ル = 牛舎構造で使い分け



元糞乾施設、繁殖牛用



R6から繁殖牛に給与



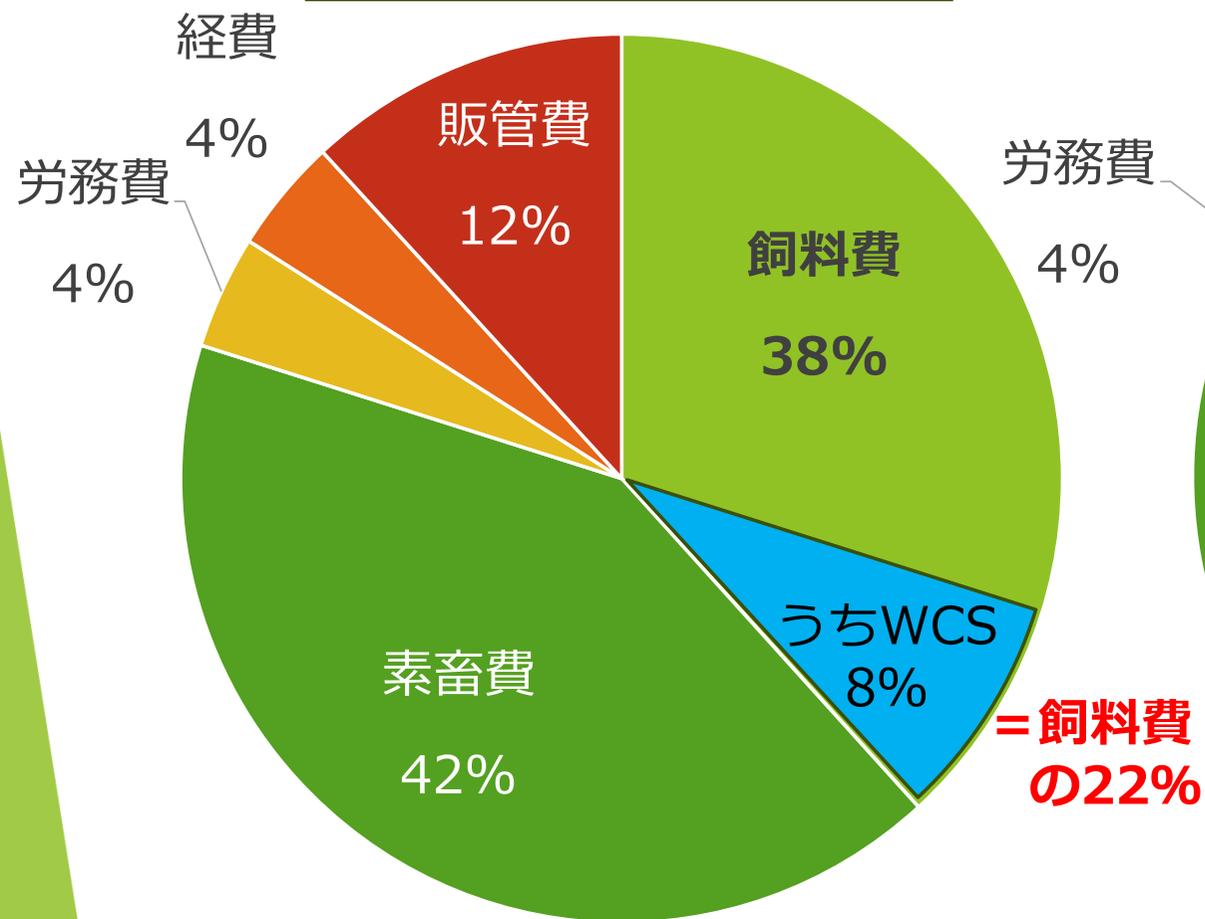
稲わらラップ°ロール (予乾なし)

連携先と確保状況

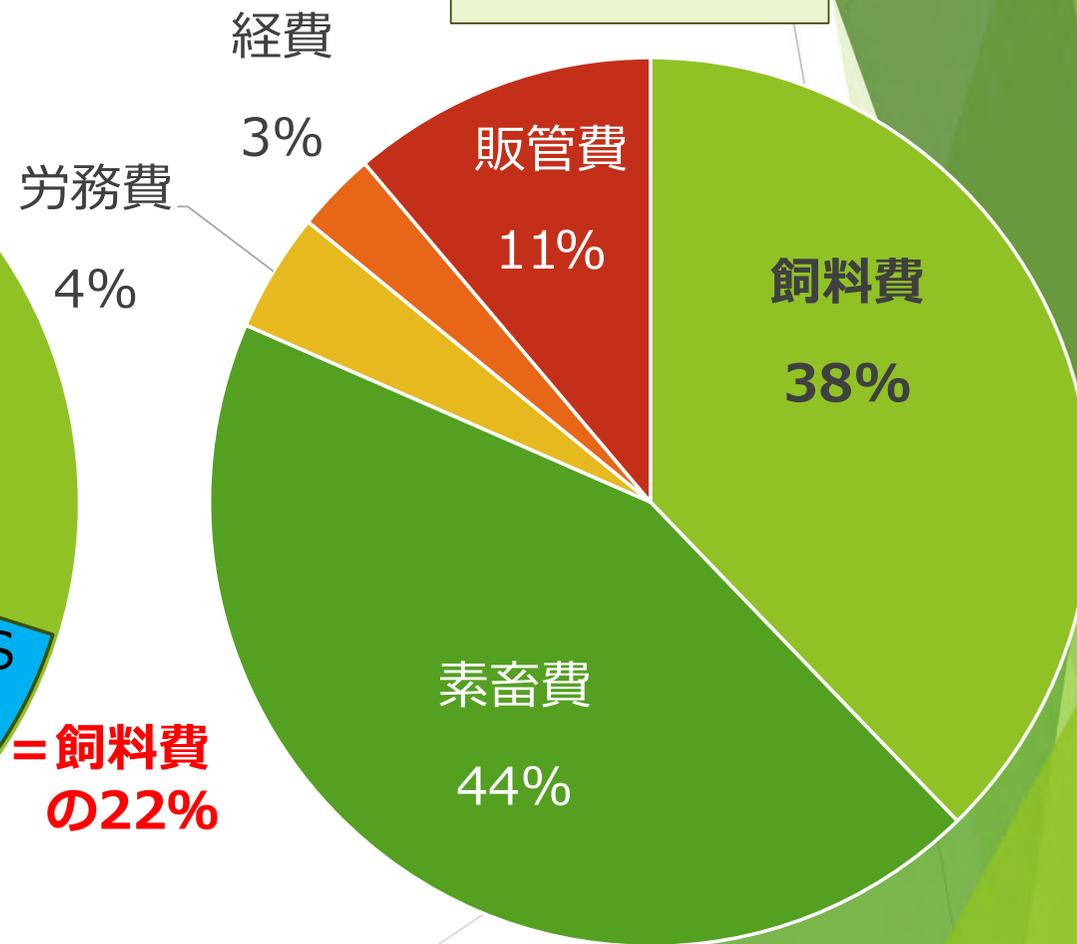
区分		奈義町内	(有) B	K (有)	F (株)		(株) M 新規	合計
		稲わら ロール	稲わら ロール	稲わら ｺﾝﾊﾟ外	稲わら ロール	稲わら ラップ	稲わら ロール	
令和4年産	個数	907	324	2,601	1,300			—
	重量 (kg)	90,700	42,804	33,056	130,080			296,640
令和5年産	個数	412	324	2,153	1,401			—
	重量 (kg)	41,200	34,932	25,620	134,494			236,246
令和6年産 (R7.1暫定)	個数	907	324	2,019	300	188	岡山市 南部から 1,000個 予定	—
	重量 (kg)	90,700	36,360	26,280	32,510	天候不良 のため		—

部門別の生産費割合①

ホルスタイン肥育 (R5)

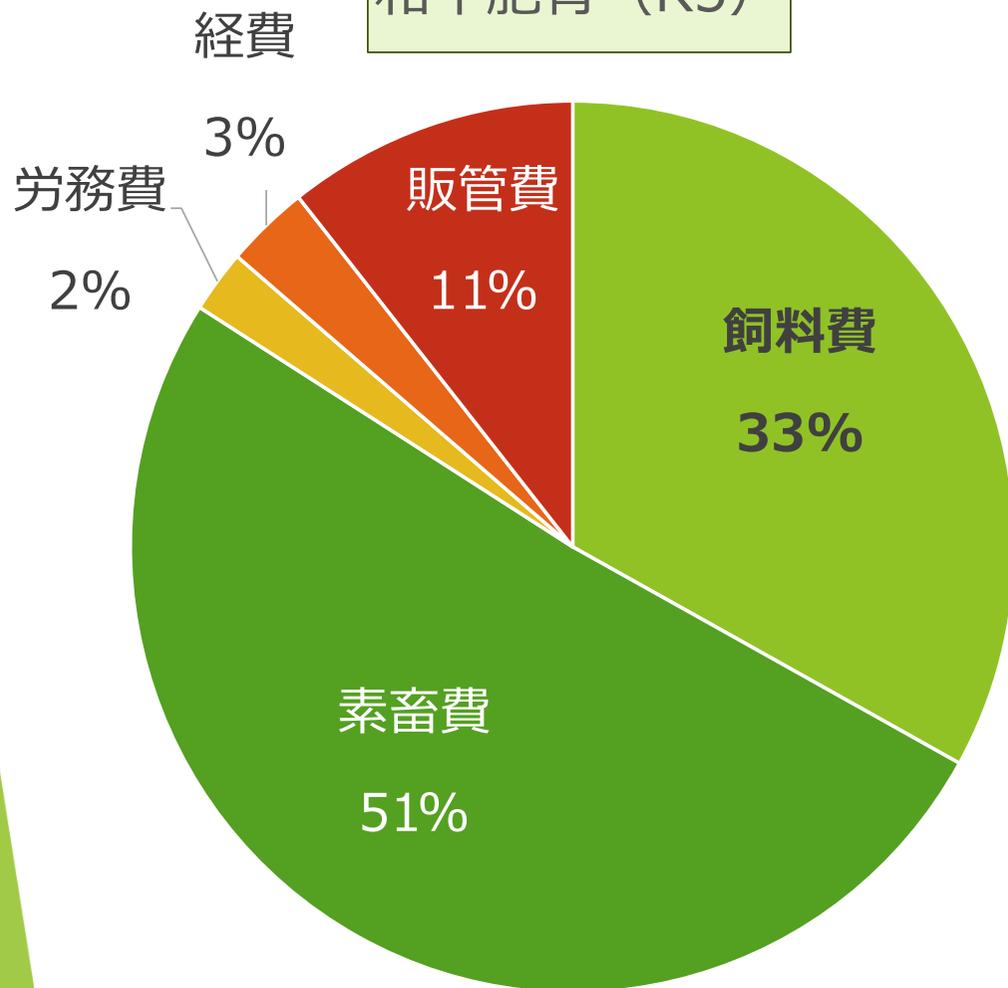


F1肥育 (R5)

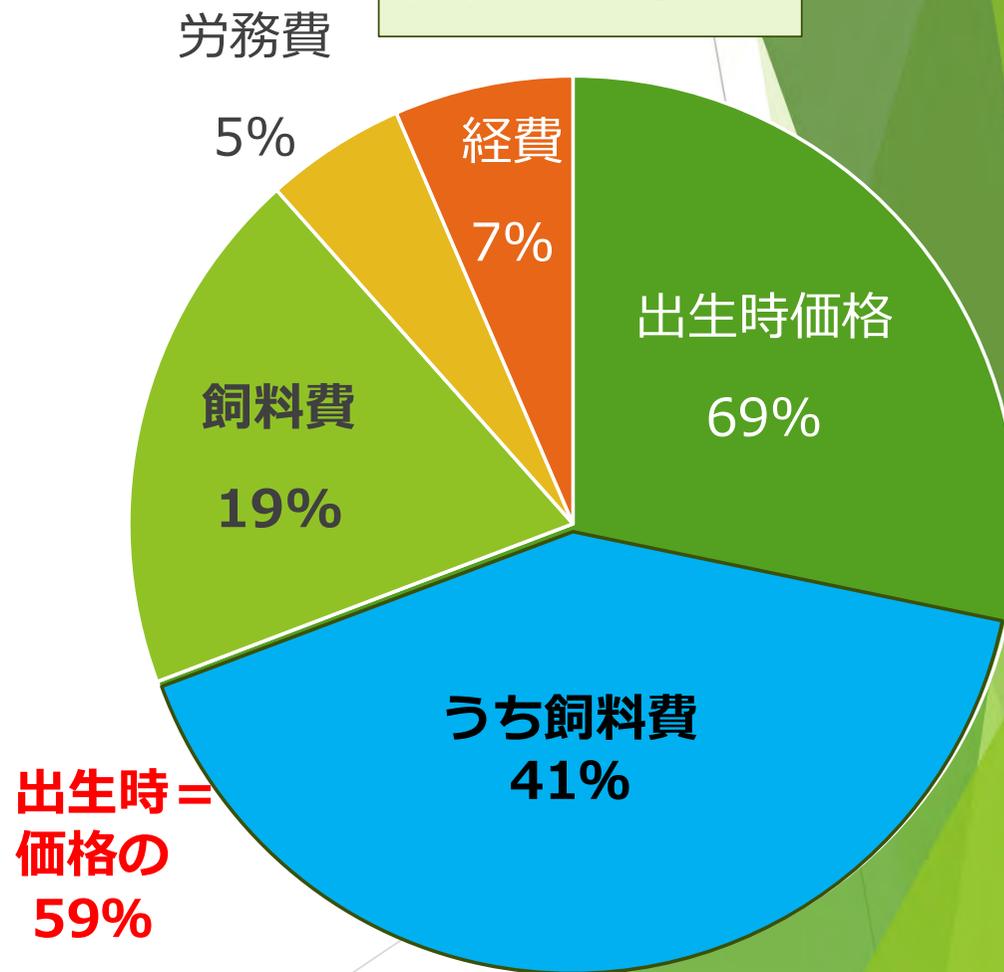


部門別の生産費割合②

和牛肥育 (R5)



素牛生産 (R5)



今後の取り組み

(未利用資源を含む県内産飼料の有効活用による経費節減)

肥育部門

- 粗飼料は地元産及び県内産の稲わらやWCSを最大限利用
- 配合飼料の一部代替として飼料用米を継続利用

繁殖部門

- 繁殖牛の粗飼料に稲わらを給与
数量及び保管庫の目途が立ち、R6から一部期間で給与を開始
- 繁殖牛の飼料分野で、さらなる経費節減を検討



三世代にわたって 歴史を刻む協業経営

この先も・・・

平成28年頃・3代目



昭和48年頃・初代



昭和61年頃・2代目

地域と連携して
協業と個別経営を両立



撮影日：令和7年1月1日



ご清聴ありがとうございました